Ⅰ　石川県の経済動向（平成16年２月～４月）

～ 様々な事象や統計情報等を通じ、
３か月毎の県内の経済情勢を
調査・分析していきます。～

1　概　況 ―― 懸念材料はあるが、引き続き回復基調

【生　産】

県内の製造業は特に中国・米国を中心とした輸出関連産業が良く、建設機械、電気機械等が好調であり、前年を上回る水準となっていますが、業種によっては受注が弱含みとなっているところもあります。

先行きについては為替相場の動向や原油や、鉄鋼等の素材価格の世界的上昇の影響もあり、不透明さもありますが、設備投資に積極的姿勢が見られることから、引き続き回復基調を辿るものと予想されます。

非製造業では、建設業において公共工事関連予算が抑制傾向にあることから引き続き低調に推移しています。

【消　費】

このところの個人消費においては、デジタル家電や新型車の販売、海外旅行等一部において回復の兆しが見られますが、まだまだ一部の高付加価値商品に限定されています。

また、４月の金沢市の勤労者世帯の消費支出は実質で前年同月を2.3%下回っていますが（全国は7.2%上回っている)、県内事業所の現金給与総額は上昇傾向にあり、これからの消費マインドの更なる高揚が期待されます。

【雇　用】

引き続き製造業の生産増勢を受けて４月の有効求人倍率は0.88まで回復していますが、１～３月期の北陸４県の完全失業率は4.5%となり前期を上回りました。とりわけ若年労働者の失業率が高く、７月から設置予定の若者を対象とした就職支援拠点「ジョブ・カフェ」の成果が期待されます。

【その他】

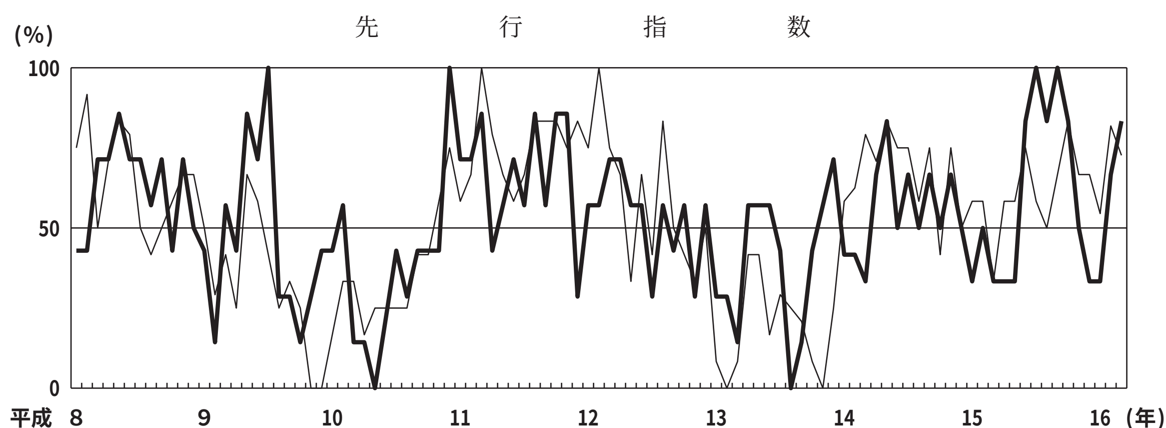
平成15年の県内観光入り込み客数は前年に比べ、4.8%減の2,150万５千人にとどまりましたが、５月の大型連休は曜日配列に恵まれたこともあり、兼六園入園者数が例年並みを記録するなど、回復の兆しも見えています。

2　産業別動向

①　景気動向指数［平成８年１月～平成16年３月］

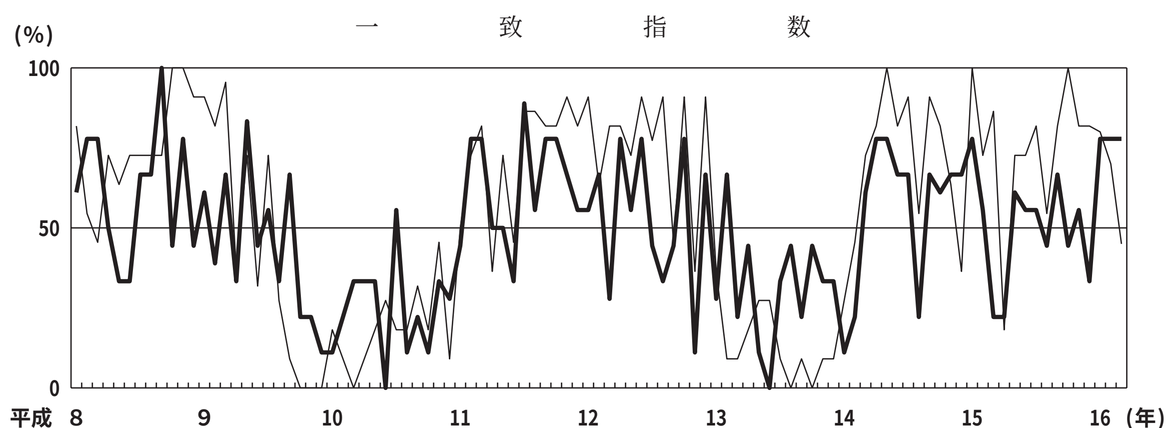
石川県
全　国

図－１



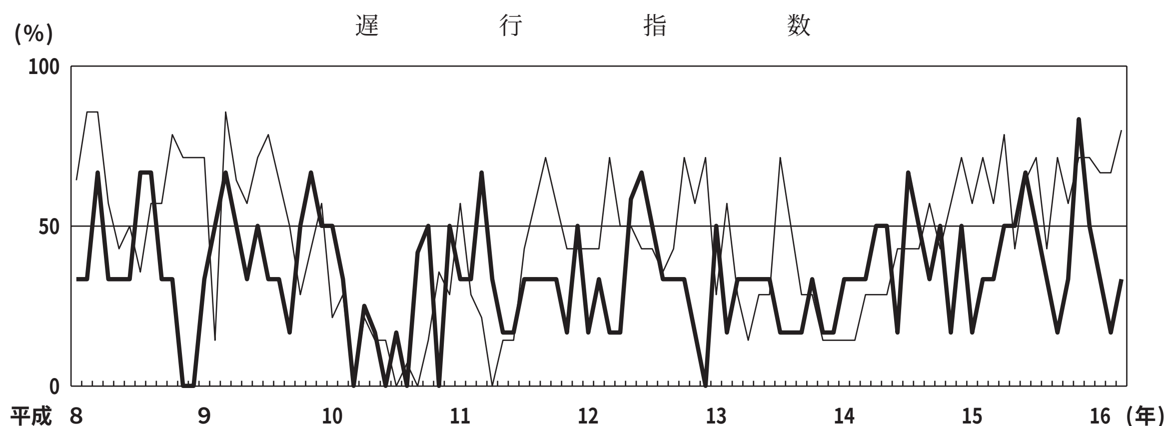
・３月の先行指数は、新規求人数の変化方向がプラスに転じて５指標の変化方向がプラスになったことから、２か月連続して50%を上回った。

図－２



・３月の一致指数は、温泉旅館宿泊客数の変化方向がマイナスに転じたが、建築着工床面積の変化方向がプラスになり７指標の変化方向がプラスを示したことから、３か月連続して50%を上回った。

図－３



・３月の遅行指数は、賃金指数の変化方向がプラスに転じたが、４指標の変化方向がマイナスを示したことから、３か月連続して50%を下回った。

資料出所：石川県統計情報室

年　月		平成13年									平成14年								
系列名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
先行系列	新設住宅着工戸数	－	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋	－	－	－	＋	＋	－	－	－	－	＋
	所定外労働時間	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0	－	＋	＋	＋	＋	＋	－
	東証株価指数	＋	＋	＋	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	＋	＋
	新車新規登録数	＋	＋	＋	＋	－	－	－	－	＋	－	＋	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋
	新規求人数	＋	－	＋	－	－	－	＋	＋	＋	－	－	－	－	＋	＋	＋	－	＋
	銀行貸出残高	＋	＋	－	＋	－	－	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	－	＋	－	－
一致系列	有効求人倍率	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	＋	＋	＋	＋	＋	＋
	大口電力使用量	－	－	－	＋	－	－	－	－	＋	－	－	－	＋	＋	＋	＋	－	－
	鉱工業生産指数(総合)	＋	－	－	－	＋	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	－	＋
	鉱工業生産指数(機械)	＋	－	－	－	＋	－	＋	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋
	鉱工業生産指数(繊維)	－	＋	－	＋	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	百貨店販売額	＋	－	－	－	－	－	－	＋	＋	－	－	＋	＋	＋	＋	－	－	＋
	温泉旅館宿泊客数	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋
	単位労働コスト	＋	－	－	－	＋	－	＋	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋
	建築着工床面積	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	＋	＋	－	－	－	＋	＋	－
遅行系列	不渡手形発生率	－	＋	－	－	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋	－	－	＋	－	＋	－	－
	雇用指数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	賃金指数	＋	－	＋	－	－	－	＋	＋	－	＋	＋	＋	－	－	－	＋	＋	＋
	貸出約定平均金利	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－
	雇用保険受給者数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋
	営業倉庫在庫高	＋	＋	＋	＋	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	－	－	－	－	－

年　月		平成14年			平成15年												平成16年		
系列名		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
先行系列	新設住宅着工戸数	＋	＋	＋	－	＋	－	＋	－	＋	＋	＋	＋	－	－	－	－	＋	＋
	所定外労働時間	＋	＋	＋	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	－
	東証株価指数	－	＋	－	＋	＋	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
	新車新規登録数	－	－	－	＋	－	＋	－	－	－	＋	－	＋	＋	－	－	－	＋	＋
	新規求人数	＋	＋	＋	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	－	＋
	銀行貸出残高	－	－	－	－	＋	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
一致系列	有効求人倍率	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	0	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋	＋
	大口電力使用量	－	＋	＋	＋	－	－	－	＋	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
	鉱工業生産指数(総合)	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	＋	＋	＋	－	－	－	－	－	＋	＋	＋
	鉱工業生産指数(機械)	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋	＋	－	＋	－	－	－	－	＋	＋
	鉱工業生産指数(繊維)	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋
	百貨店販売額	＋	－	－	＋	－	＋	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	－	＋	－	－
	温泉旅館宿泊客数	－	＋	－	－	－	＋	－	－	－	＋	＋	＋	－	－	＋	＋	＋	－
	単位労働コスト	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	＋	＋	＋	－	－	－	－	－	＋	＋	＋
	建築着工床面積	－	－	＋	＋	＋	－	＋	＋	＋	－	－	－	－	＋	－	＋	－	＋
遅行系列	不渡手形発生率	＋	－	＋	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	＋	－	－	－
	雇用指数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋	－	－	－
	賃金指数	＋	－	＋	－	－	－	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	－	＋	－	＋
	貸出約定平均金利	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	雇用保険受給者数	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋
	営業倉庫在庫高	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	－

㈲　季節変動による影響を取り除き、３か月前に比べて上がった場合は＋、下がった場合は－、変動がなかった場合０で示してある。

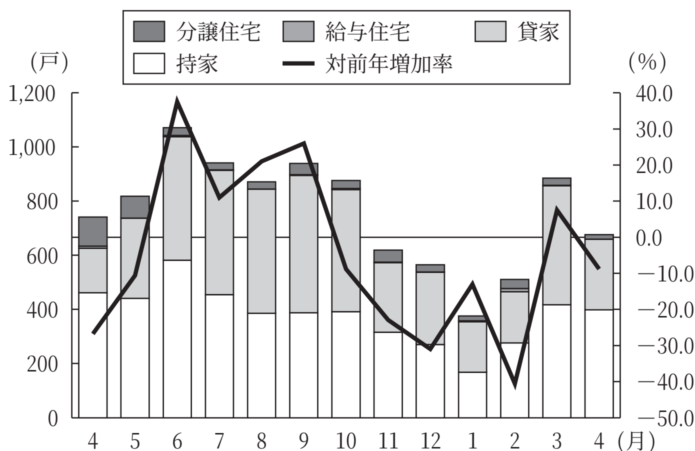
②　産業個別動態［平成16年２月～４月］

資料出所：日本銀行金沢支店「北陸３県の金融経済概況」他

合成繊維	衣料品	輸出は、最近の円高の影響を受けながらも中国、米国向けが堅調なこと等もあり、持ち直し気味。 内需は低価格輸入品との競合等から、低調に推移。 生産は織物･染色加工高は、やや弱含み。高付加価値製品等は、消費者ニーズに合い、堅調に推移。
	非衣料品	自動車内装材や電磁波遮断材の受注が引き続き堅調に推移。
電気機械・一般機械	ディスプレイ	生産は、個人向け・輸出向けを中心に大型サイズへの買い替え需要のため好調に推移。
	サーバー・周辺機器	生産は、システム老朽化などに伴う買い替え需要もあって、緩やかに持ち直し。
	建設機械	生産は、米国、中近東向け輸出が好調なほか、国内向けもレンタル・リース会社の買い替え需要の増加等から、全体でも増加している。
	繊維機械	受注は、主力の中国向けを中心に頭打ちとなってきている。 そのため生産についても、減少気味である。
	工作機械	国内受注は、自動車関連や液晶関連メーカー向けを中心に増加している。 海外受注についても、欧州、米国向けが自動車関連を中心に拡大気味。 このため、生産は引き続き増加している。
紙・パルプ	印刷・情報用紙等	生産は、不採算部門を整理し、携帯電話の取扱説明書向け等の出荷が堅調なことや、設備改修を控えた在庫積み増しもあって、堅調に推移している。
化学・医薬品	医薬品関連	生産は、OEM（相手先商標生産）や後発医薬品等が堅調に推移している。
	プラスチック製品等	生産は、自動車部品向け、携帯電話向けが堅調なことから、全体でも緩やかな増加を持続している。
建設資材	アルミ建材	住宅用建材については、新製品投入効果やリフォーム案件等の新規需要獲得が奏効していることから、生産は堅調に推移している。 ビル用建材については、首都圏のビル建築が一巡して減少気味であったが、その後新製品の投入効果等から、生産は底固く推移している。
	セメント	生産はコンクリート２次製品は不調だが、セメント、パイルが関西、東海方面への出荷がセメント持ち直してきていることから、全体でも下げ止まっている。
建設	住宅着工	住宅着工が低水準横這いで推移しているほか、公共工事も予算の縮小を反映して減少していることから、全体でも弱めに推移している。（図１参照）
	公共工事	大型の公共事業が終了したため保証額全体としては前年同期比で38%減少した。（５Ｐ図２参照）

図１　新設住宅着工戸数の推移

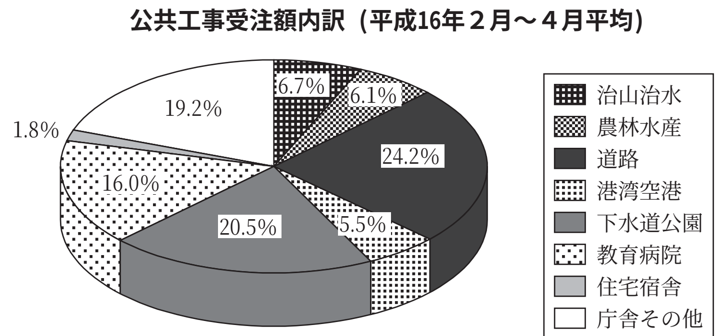
年　月	戸　数（戸）	総床面積（㎡）
平成15年４月	741	92,786
5	818	90,128
6	1,071	109,283
7	941	88,731
8	871	79,119
9	939	86,224
10	876	81,277
11	619	60,085
12	565	53,469
平成16年１月	376	33,815
2	511	52,997
3	885	97,015
4	676	75,475



資料出所：国土交通省

図２　公共工事受注額推移

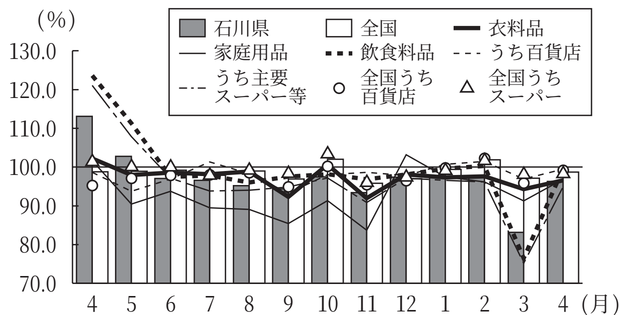
年　　月	総工事費（百万円）	前年同月比（％）
平成15年４月	17,906	△ 19.7
5	17,853	△ 41.7
6	16,686	△ 29.3
7	25,980	△ 22.8
8	15,886	△ 12.3
9	22,398	△ 10.7
10	23,765	△ 31.1
11	13,707	△ 21.0
12	15,498	△ 18.9
平成16年１月	6,530	△ 51.5
2	6,054	△ 48.2
3	18,288	△ 7.0
4	20,910	16.8



資料出所：東日本建設業保証㈱

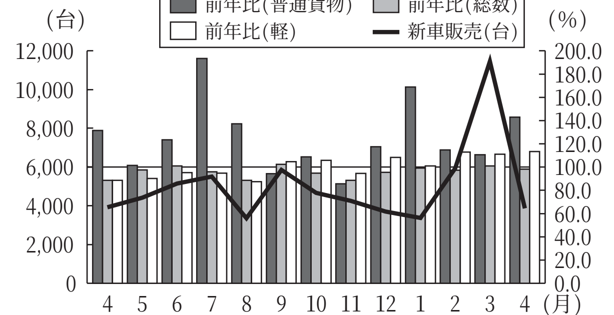
小　売	百貨店売上高	１月下旬からの大雪で影響を受けたものの、冬物バーゲンやイベントは好調であった。春物衣料品は、気温変動や曜日構成の影響を受けて、弱めの動きとなっているが、美術品、高級雑貨など高額品の一部や消費者ニーズにマッチした商品の販売が堅調で、明るい兆しを指摘する声が拡がりつつある。（図３参照）
	スーパー売上高	BSE や鳥インフルエンザの影響が依然としてみられる一方で、婦人物フォーマル、制服などの季節商品や新生活準備関連の商品が堅調であったほか、営業時間の延長効果もあって、全体でも持ち直しの気配が窺われる。（図３参照）
	乗用車販売	新車登録台数は、小型車が前年好調の反動から減少を続けているものの、普通車や軽乗用車が新型車投入効果から持ち直しており、また、普通貨物も好調な動きを続けており全体では横這いの動きとなっている。（図４参照）
	家電販売	曜日構成の影響を受けたが、デジタル家電・携帯電話が好調なこともあり、また新生活需要により白物家電も堅調であることから全体的に横這いとなっている。

図３　月別大型小売店売上高推移



※店舗調整前の数字にて作成　　資料出所：経済産業省

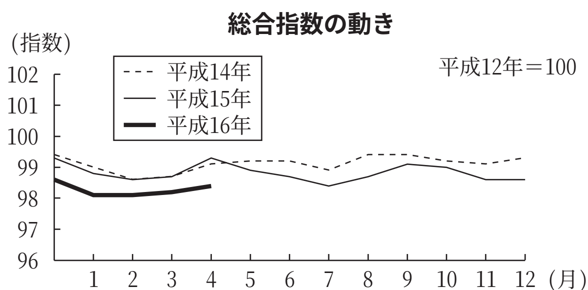
図４　月別新車販売台数推移

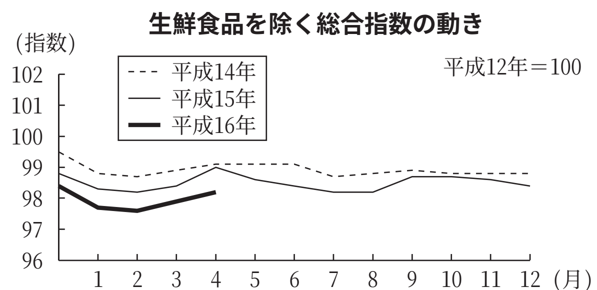


資料出所：石川県自動車販売店協会

消　費	消費者物価指数	４月の消費者物価指数速報値は前月に比べて0.2上昇したが、前年同月と比べると－0.9であり、依然として低い水準にある。なお、原料高によるガソリンの値上げは自動車関係費を押し上げており、今後も多方面での影響が予想される。（図５参照）
	家計消費	BSE と鳥インフルエンザの影響は、家計にも影響を及ぼしており、特に２月の鳥インフルエンザの発生は豚肉の消費額を押し上げている。なお、全国的には紳士服の購入額が増えるなど、景気の動きが家計にも現れつつある。（６Ｐ図６・７参照）

図５　消費者物価指数の推移



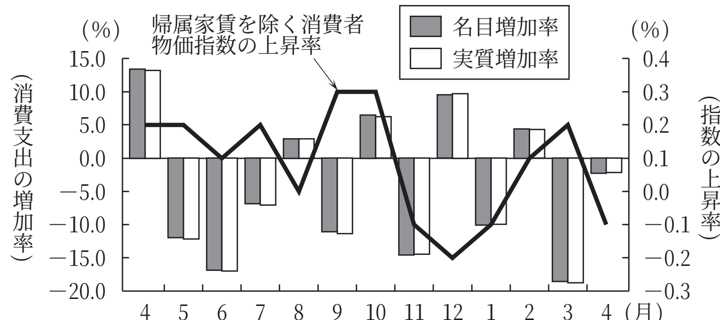


資料出所：石川県統計情報室

図６　消費支出と物価指数の推移

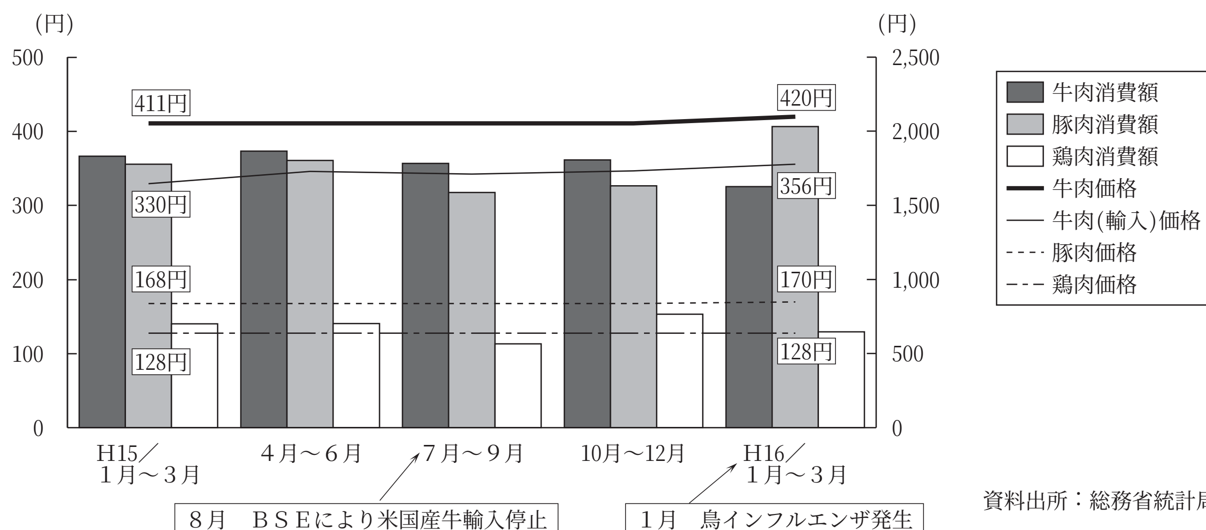
年　　月	消費支出実数（円）（金沢市勤労者世帯）
平成15年４月	412,740
5	327,382
6	332,713
7	384,737
8	356,433
9	338,326
10	374,327
11	312,354
12	415,629
平成16年１月	316,100
2	348,868
3	364,023
4	403,310

金沢市の勤労者家計消費の動き（平成15年４月～平成16年４月）



資料出所：総務省統計局他

図７　肉類の金沢市小売価格と家計消費額の推移

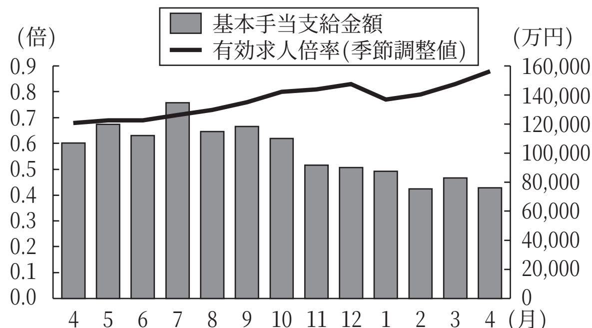


資料出所：総務省統計局

雇用情勢	**有効求人倍率**	**１月にいったん落ち込んだ有効求人倍率は生産の増加傾向に伴って順調に上昇し、４月は0.88まで回復した。（図８参照）**
	雇用手当受給	**有効求人倍率の上昇を背景に４月の受給額は前年の７割まで低下した。（図８参照）**
労 働 力	**完 全 失 業 率**	**１～３月の北陸の完全失業率は4.5%となり、前年同期と変わらなかったが、前期と比較して0.4上昇した。なかでも、若年者の失業率が前期よりも上昇しており、依然として状況は厳しい。（図９参照）**

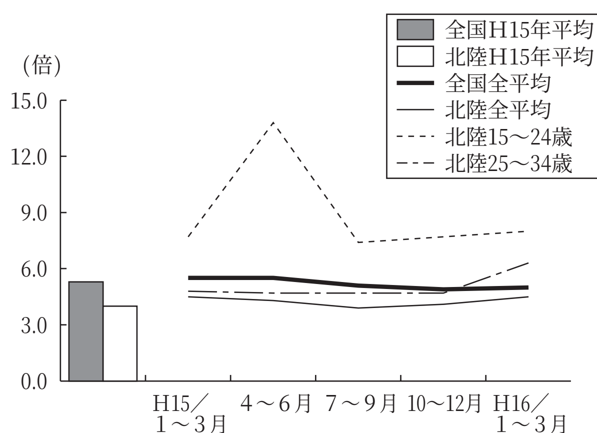
図８　有効求人倍率及び基本手当支給額の推移

有効求人倍率と基本手当支給金額の推移
（平成15年４月～平成16年４月）



資料出所：石川労働局

図９　完全失業率推移



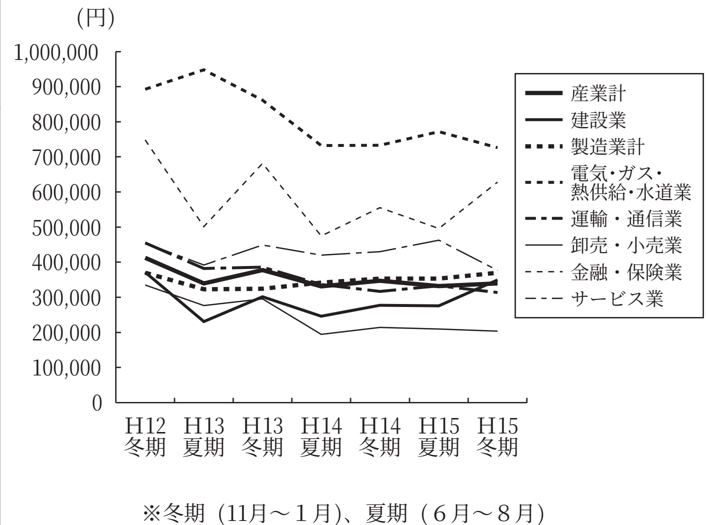
資料出所：総務省統計局

図10　賃金及び時間外労働時間の推移

年　　月	実　　質 賃金指数	前年同月 比（%）	所定外労働時間（事業所規模５人以上の製造業）(時)	前年同月 比（%）
平成15年４月	81.6	△ 2.7	13.4	4.6
5	78.1	△ 2.7	12.2	3.6
6	131.4	4.1	13.0	△ 2.5
7	122.0	2.1	13.9	1.8
8	85.8	△ 4.3	14.7	9.5
9	81.2	3.0	16.1	8.9
10	82.2	1.6	17.3	14.6
11	84.6	2.3	17.1	8.1
12	174.8	△ 1.1	16.9	5.6
1	85.8	7.5	13.2	10.9
2	83.5	4.1	15.8	24.9
3	84.1	0.0	16.5	18.2

※実質賃金指数は名目賃金指数を四市平均（金沢市・七尾市・小松市・輪島市）消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）で除したものである。

図11　産業別ボーナス額の推移
（平成12年冬期～平成15年冬期）



※冬期（11月～１月）、夏期（６月～８月）

資料出所：石川県統計情報室

観　光	観光入り込み客数	大河ドラマ効果等の反動減が一巡しつつあり、兼六園への入り込みが増加しているほか、温泉地宿泊客数でも２か月連続で前年を上回っている。
	旅　　行	旅行取扱高は全般的に国内旅行は低調だったものの、海外旅行については好調だった。また、ゴールデンウィーク期間中も曜日配列にも恵まれ昨年を上回っている。

運　輸	旅客輸送	空港の利用状況は前年に比べて減少しており、また北陸自動車道利用者数も弱めの動きを続けている。
	貨物輸送	運送貨物量は自動車関連メーカーや一般機械、電気機械の出荷が堅調であり、全体でも幾分増加している。

企　業　倒　産	負債総額が前年同期より大幅に増加した。とりわけ、２月にゴルフ場の大型倒産があり負債総額を押し上げている。（図12参照）

図12　企業倒産状況（平成16年２月～４月平均）

図12－Ａ　業 種 別 内 訳

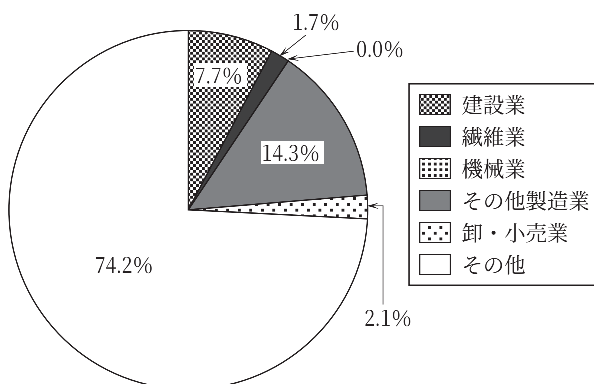
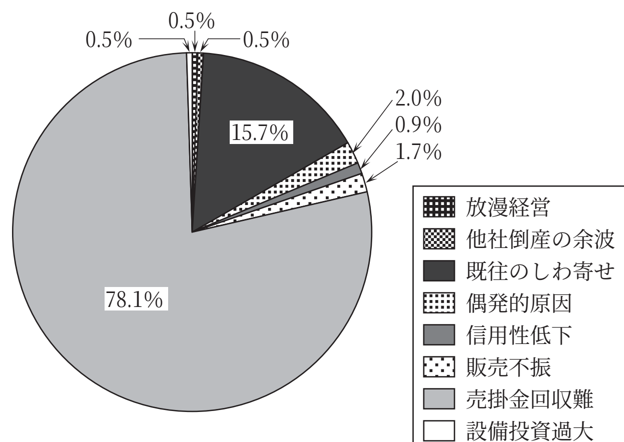


図12－Ｂ　原 因 別 内 訳



資料出所：㈱東京商工リサーチ金沢支店